

旧型機 最新式に改修

東京エレベーター

東京エレベーター(東京都中央区、馬英華社長、03・3662・1128)は、経年劣化した油圧式エレベーターを、最新の油圧方式にリニューアルする事業を20

日に始める。ガイドレールなど継続利用できる装置類を残して、制御盤や駆動部を交換。7-10日程度で作業が完了し、価格は1台につき600万円から(消費税抜き)。

更新時期を迎えたり、資産価値の向上を図ったりなどの目的で同式機の改修を考えるビルオーナーに訴求。東名阪の大都市を中心に、年間100台の受注を目指す。

エレベーターは運用から20年で制御部などの材質劣化が目立つようになり、リニューアルの必要

性が出てくる。バブル期にできた建物のエレベーターが更新時期を迎えるとともに、2020年の

東京五輪開催に備えて資産価値向上のためにエレベーターを一新する動きも予想される。